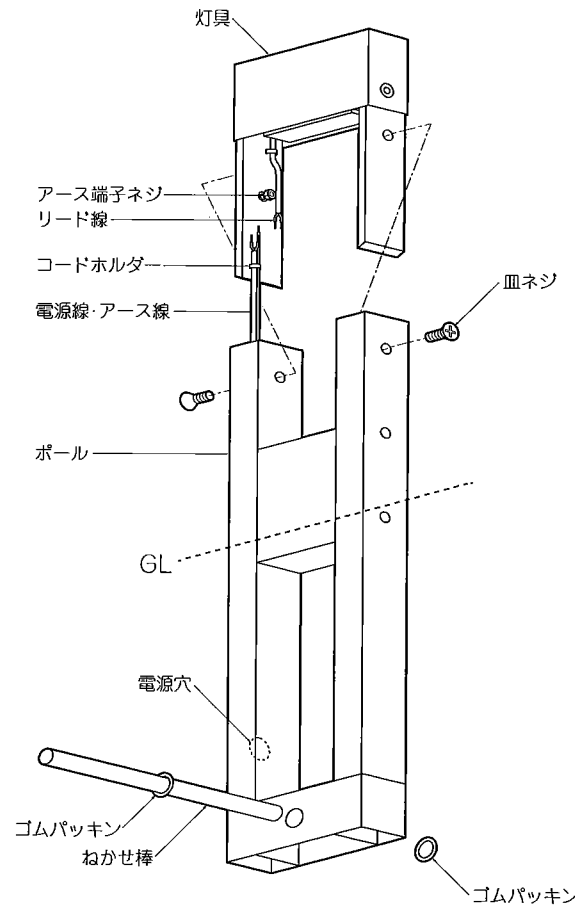


◆各部の名称

この図は一部省略抽象した共通部品図です



◆適合LEDユニット(付)

型番	ユニット名	ユニット型番	定格電圧	定格周波数	入力電流	消費電力
ERL8118S ERL8120S	LED unit block L70_4000K	RA609NB/LB	AC100V	50Hz/60Hz	72mA	4.0W
ERL8119S ERL8121S	LED unit block L70_3000K					

- △ 適合LEDユニット以外のユニットは絶対に使用しないでください。火災・器具故障の原因となります。
- △ LEDユニット交換の時は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- △ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

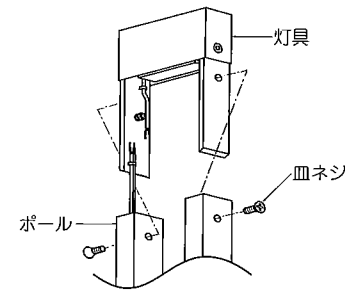
◆LED光源について

- LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べパツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- パイロットランプを内蔵したスイッチとの組み合わせでは、LEDランプが完全に消灯しない場合があります。
- ラジオやテレビなどの音響機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。
- 赤外線リモコンを採用したテレビなどの近くで点灯しますと、誤動作する場合があります。
- 適合LEDユニットは、調光できません。
- 適合LEDユニットには、安全回路が内蔵されています。LEDユニットの異常温度上昇時には消灯します。
- LEDユニットの特性上、蛍光灯ランプより点灯イメージが強くなります。あらかじめご了承ください。

◆取付方法

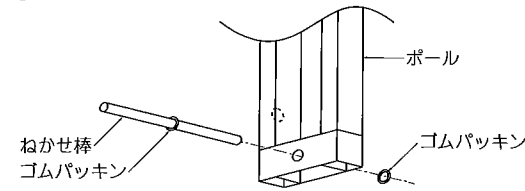
- 安全確保のため、電源ブレーカーおよび、電源スイッチを遮断してください。
△ 感電の原因となります。
- 器具重量に耐えるよう、地面の強度を確保してください。
※花壇など地面のやわらかい所ではコンクリートの基礎を作成することをおすすめします。
△ 取付部の強度が不十分な場合、器具転倒・破損などの原因となります。

3. ポールの皿ネジをゆるめ、灯具を外してください。



4. ポールを設置してください。

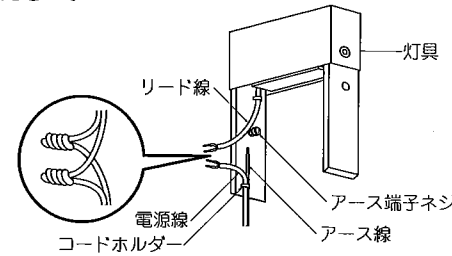
- ①ポールにねかせ棒を通し、ゴムパッキンで締めてください。
- ②ポールの電源穴から電源線とアース線をポールに引き込んでください。
- ③ポールを埋込表示ラベルがかけられるまで埋め込んでください。



△ 埋め込みが不十分な場合、器具転倒の原因となります。

5. 電源線をリード線に接続してください。

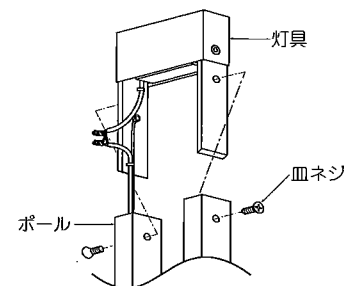
電源線の接続部は圧着スリーブなどで接続し、自己融着テープを巻き、さらに絶縁用ビニールテープなどで確実に防水・絶縁処理を行ってください。同時にD種接地工事を行ってください。結線後、電源線をコードホルダーに固定してください。



△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

6. ポールに灯具を差し込み、皿ネジで確実に取付けてください。



△ 取付けが不十分な場合、灯具落下の原因となります。

■清掃方法について

△ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のもの拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

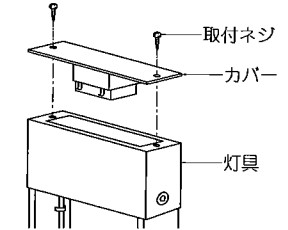
アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。

◆LEDユニットの交換方法

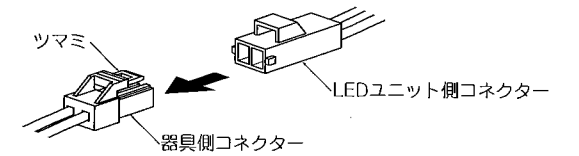
1. 安全確保のため、電源ブレーカーおよび、電源スイッチを遮断してください。

- △ 感電の原因となります。
- △ 点灯中や消灯直後(消灯後20分まで)は高温になりますので、LEDユニット交換はしないでください。やけどの原因となります。

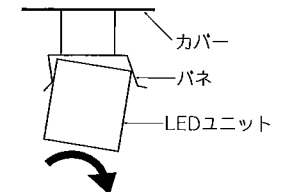
2. 上面の取付ネジをゆるめ、カバーを外してください。



3. ツマミを押しながら器具側コネクタをLEDユニット側コネクタから引き抜いてください。

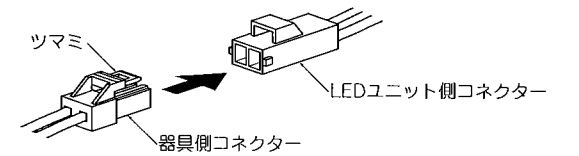


4. LEDユニットを傾け、パネから引き抜いてください。



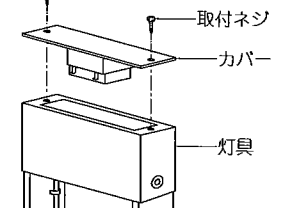
5. 新しいLEDユニットをカバーにはめ込んでください。

6. 新しいLEDユニット側コネクタに器具側コネクタを確実に差し込み接続してください。



△ 接続不完全の場合、火災・漏電の原因となります。

7. カバーを灯具に合わせ、取付ネジで確実に取付けてください。



△ 取付けが不十分な場合、火災・感電の原因となります。